

環境審議会

「よりよい環境施策を目指して」

8月28日、役場庁舎2階庁議室にて、第1回環境審議会が開催されました。

本審議会は、しほろ自然環境に親しむ会や女性団体連絡協議会、グリーンツーリズムネットワーク等の各種委員会・協議会の委員7名によって組織され、土幌町の環境保全や維持、創造についての基本的な考え方を定め、町民が健康で文化的な生活を営むための良好な環境を確保することを目的としています。

開会にあたり、東村達夫会長は「土幌町は予てより環境施策に力を入れてきた。ゼロカーボンについても、審議会としてしっかりと進めていきたい。」とあいさつされました。

審議会については、事務局（地域戦略課ゼロカーボン推進係）より環境施策に関する計画や今後の運用について説明がされ、委員との活発な議論が交わされました。



ゼロカーボンシティ推進協議会

「次世代に向けた環境施策へ」

8月30日、役場コミュニティセンターにて、第1回土幌町ゼロカーボンシティ推進協議会が開催されました。

本協議会は、本町における2050年カーボンニュートラル達成に向けて、関係者が目指す姿を共有・連携・協働しながら、脱炭素によるまちづくり等について協議するため、町内団体及び事業関係者によって組織されています。

この日は、町内に太陽光発電設備などの再生可能エネルギー（以下「再エネ」）を導入する場合、各法令や環境・景観へ配慮するためのエリア設定（ゾーニング）を行うマップの作成について事務局（地域戦略課ゼロカーボン推進係）と委託業者（株式会社建設技術研究所）より説明がありました。

委員からは、「エリア設定の考え方」や「再エネ導入に係るトラブル」などの意見や要望が出されました。



中央中学校へ図書購入費を寄付

（株）平田建設

8月31日、株式会社平田建設の長谷川雅毅社長が役場を訪れ、中央中学校への図書購入費として10万円の寄付をしていただきました。

同社からは平成17年から毎年寄付をしていただいております。今年で19回目となります。昨年度までの寄付で購入した図書は1007冊となり、学校図書館には「平田文庫」コーナーが設置されています。

長谷川社長は「今はネット社会でいろんな情報が入手できるが、寄付した当初は、中学生に本を寄付することでその中からいろんなことを学んでほしいという想いがあったと思う。来年は20回目の節目でもあり、さらに何か考えたい」と話していました。

高木町長は「19年に渡り寄付をいただき、昨年の寄付で1000冊も超え、多くの書籍を購入することができ、大変ありがたい。また、平田文庫を読んだ子ども達の人材育成に貢献していただいております」と感謝の意を述べました。

